

FUYO LEASE  
GROUP

2022年3月期 第2四半期  
決算概要資料

2021年11月5日  
芙蓉総合リース株式会社

# 目次

---

1. 連結業績の概況
2. 事業活動の概況
3. 業績予想・配当方針
4. 参考資料

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

1. 連結業績の概況

(1) 2022/3期 第2四半期 決算概要

- ・戦略分野を中心とした差引利益の伸長に加え、営業外収益（債権取立益・持分法投資利益等）の増加も寄与し、各段階利益は増益かつ過去最高実績を更新
- ・収益性を意識したアセットコントロールを進め、ROAも現中期経営計画目標値（2.0%）を上回る

	2021/3期 2Q実績	2022/3期 2Q実績	増減額	増減率	(単位：億円)
売上高*	3,574	2,854	▲720	▲20.1%	
差引利益*1	459	481	+22	+4.8%	*1 資金原価控除前 売上総利益
売上総利益	409	435	+26	+6.3%	
営業利益	209	235	+26	+12.3%	
経常利益	228	275	+47	+20.7%	
四半期純利益*2	139	181	+42	+30.3%	*2 親会社株主に帰属する 四半期純利益
1株当たり四半期純利益	462.79円	602.58円	+139.79円	+30.2%	
契約実行高	6,624	6,439	▲186	▲2.8%	
営業資産残高	25,559*4	25,582	+24	+0.1%	*3 経常利益(年換算) ÷営業資産残高(平残)
ROA*3	1.94%*4	2.15%	+0.21pt		*4 2021/3末数値

※「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。  
従来の基準で売上高を認識した場合、**3,552億円**（対前年同四半期増減率▲0.6%）となります。  
また、「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる損益への影響はありません。

## (2) 損益推移

	17/9	18/9	19/9	20/9	21/9	増減額
売上高	3,026	2,957	3,445	3,574	2,854	▲720
売上原価*1	2,678	2,595	3,029	3,114	2,373	▲742
差引利益*2	348	362	416	459	481	+22
資金原価	36	41	47	50	47	▲4
売上総利益	312	321	369	409	435	+26
販管費	137	139	164	200	200	▲0
(貸倒関連費用)	(1)	(2)	(5)	(9)	(14)	(+5)
営業利益	175	182	205	209	235	+26
営業外損益	13	14	15	18	40	+21
(貸倒関連損益)	(4)	(1)	(1)	(2)	(15)	(+13)
経常利益	188	196	220	228	275	+47
特別損益	▲0	2	2	▲0	1	+1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	117	127	137	139	181	+42
一株当たり四半期純利益 (円)	387.59	419.54	455.81	462.79	602.58	+139.79

(単位：億円)

「収益認識に関する会計基準」等の適用を主因とする減収。適用による損益への影響はなし。

\*1 資金原価を除く

\*2 資金原価控除前売上総利益

## 差引利益

- ・戦略分野やファイナンスが好調に推移

## 販管費

- ・前年同期に計上した本社移転関連費用などの一過性コストが剥落

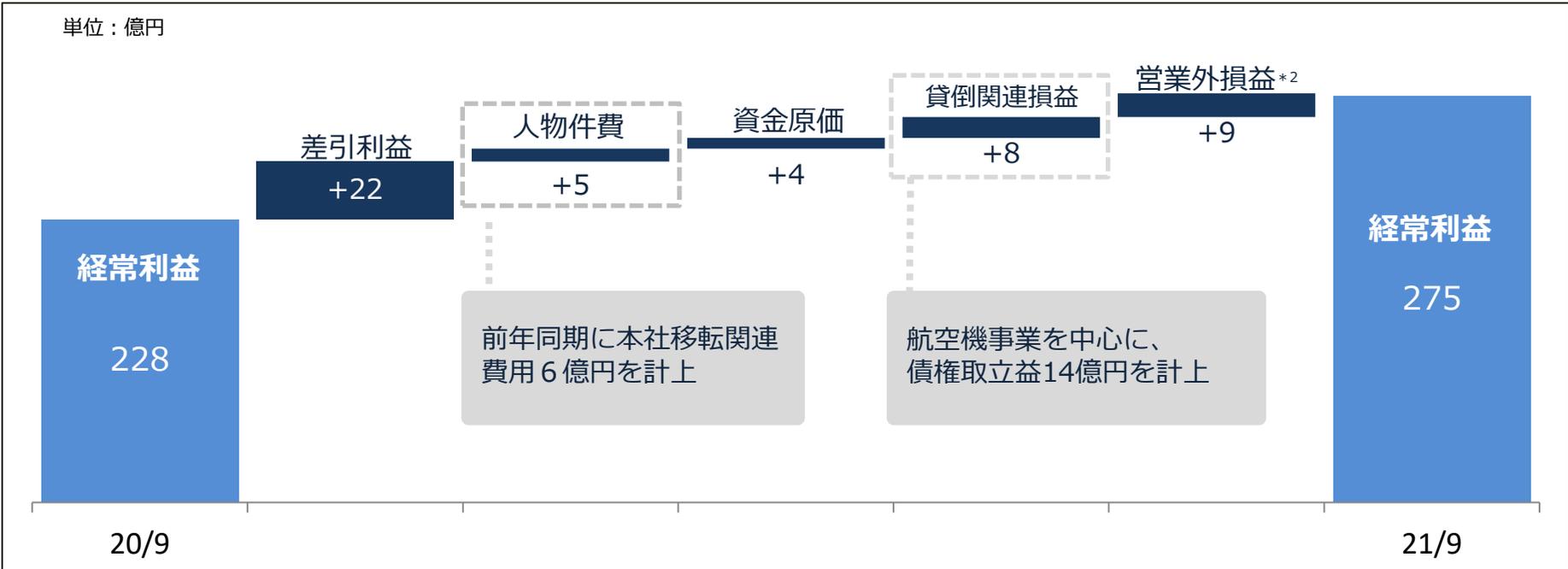
## 営業外損益

- ・持分法投資利益、債権取立益の増加が寄与

1. 連結業績の概況

(3) 経常利益の増加要因

- ・ エネルギー・環境や不動産を中心とした戦略分野の伸長により、差引利益\*1が増加
- ・ 前年同期に計上した一過性コストの剥落もあり、人物件費は減少
- ・ 債権取立益や持分法投資利益の増加による営業外収益の伸長も寄与し、経常利益は大きく増益



	20/9	21/9	増減
差引利益	459	481	+22

人件費	111	112	+1
物件費	80	73	▲7
資金原価	50	47	▲4
貸倒関連損益	7	▲1	▲8

(単位：億円)

	20/9	21/9	増減
営業外損益*2	16	25	+9

経常利益	228	275	+47
------	-----	-----	-----

\*1 資金原価控除前売上総利益  
\*2 貸倒関連を除く

1. 連結業績の概況

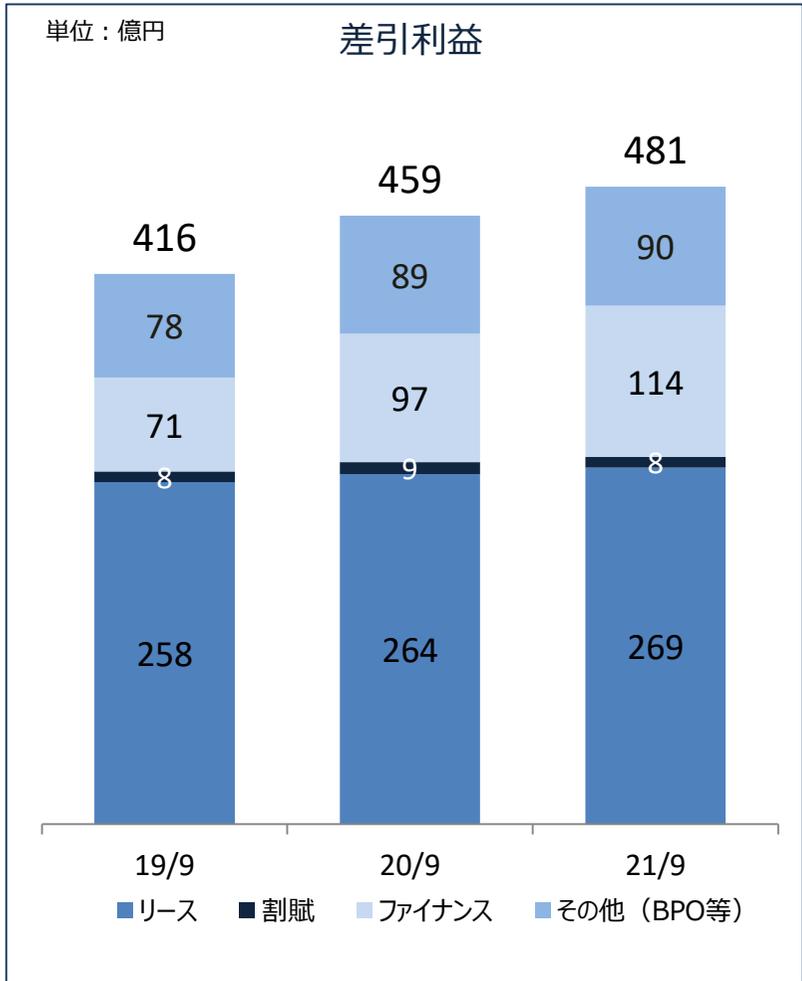
(4) 差引利益\*1

\*1 資金原価控除前売上総利益

- ・「リース」は戦略分野が堅調に推移したため、増益基調が継続
- ・「ファイナンス」はエネルギー・環境や不動産におけるエクイティ投資の利益拡大が寄与

(単位：億円)

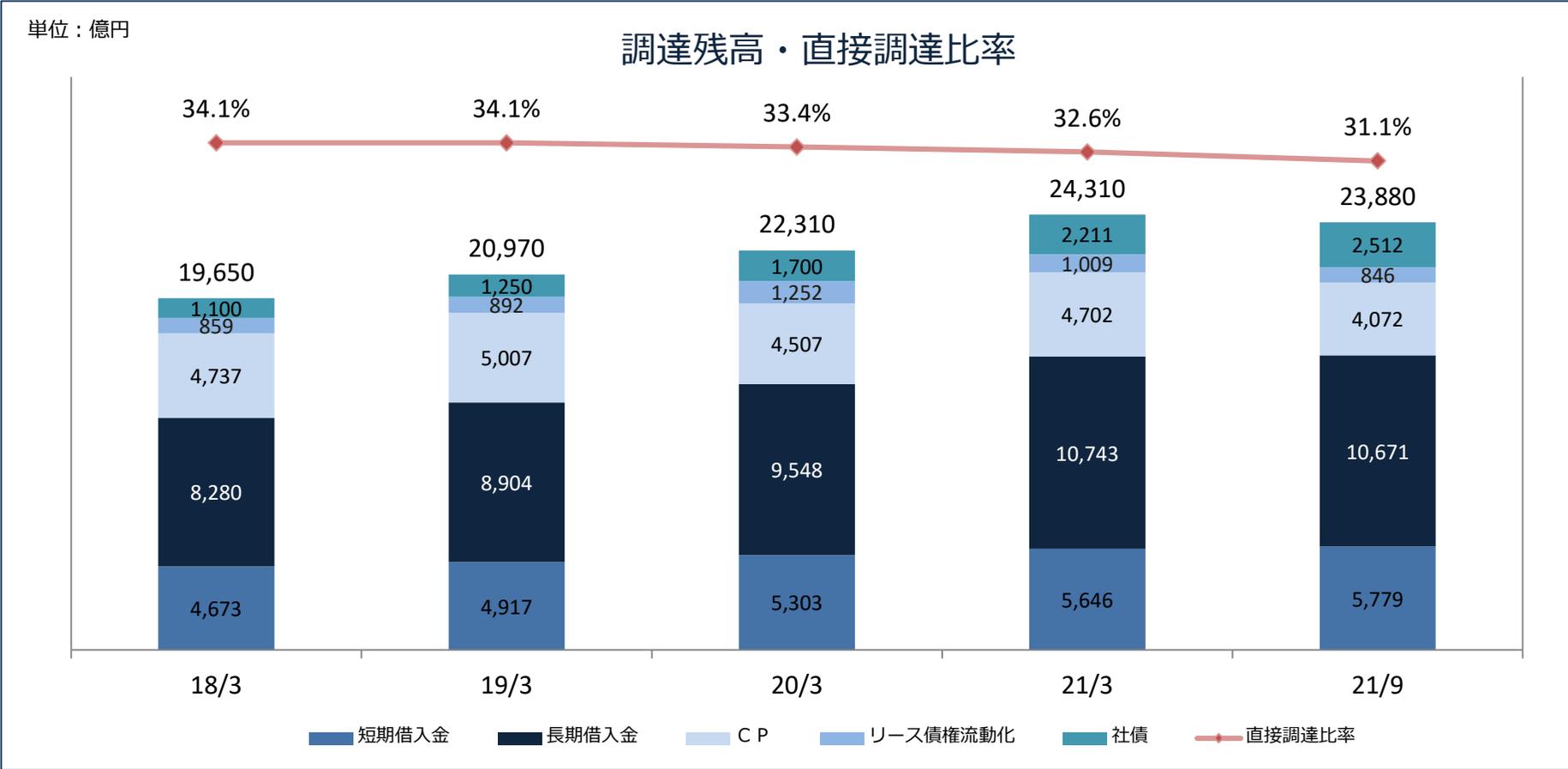
	リース				ファイナンス			
	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率
差引利益	264	269	+6	+2.1%	97	114	+17	+17.5%
資金原価	26	27	+0	+0.5%	20	18	▲3	▲12.3%
売上総利益	237	243	+5	+2.3%	77	96	+20	+25.5%
	割賦				その他			
	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率
差引利益	9	8	▲2	▲18.5%	89	90	+1	+1.4%
資金原価	2	1	▲1	▲34.8%	2	1	▲1	▲32.7%
売上総利益	8	6	▲1	▲14.6%	88	89	+2	+2.1%
	リース及び割賦 計				合計			
	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率
差引利益	273	277	+4	+1.4%	459	481	+22	+4.8%
資金原価	28	28	▲1	▲1.8%	50	47	▲4	▲7.1%
売上総利益	245	249	+4	+1.8%	409	435	+26	+6.3%



1. 連結業績の概況

(5) 調達状況

- ・ 良好な調達環境を背景に、積極的に社債を活用
- ・ ESGファイナンスの取組みを積極的に進め、サステナビリティボンド（芙蓉CSVボンド）を発行
- ・ ユーロMTNプログラム（発行限度額20億USドル）を設定し、安定的な外貨調達基盤を構築



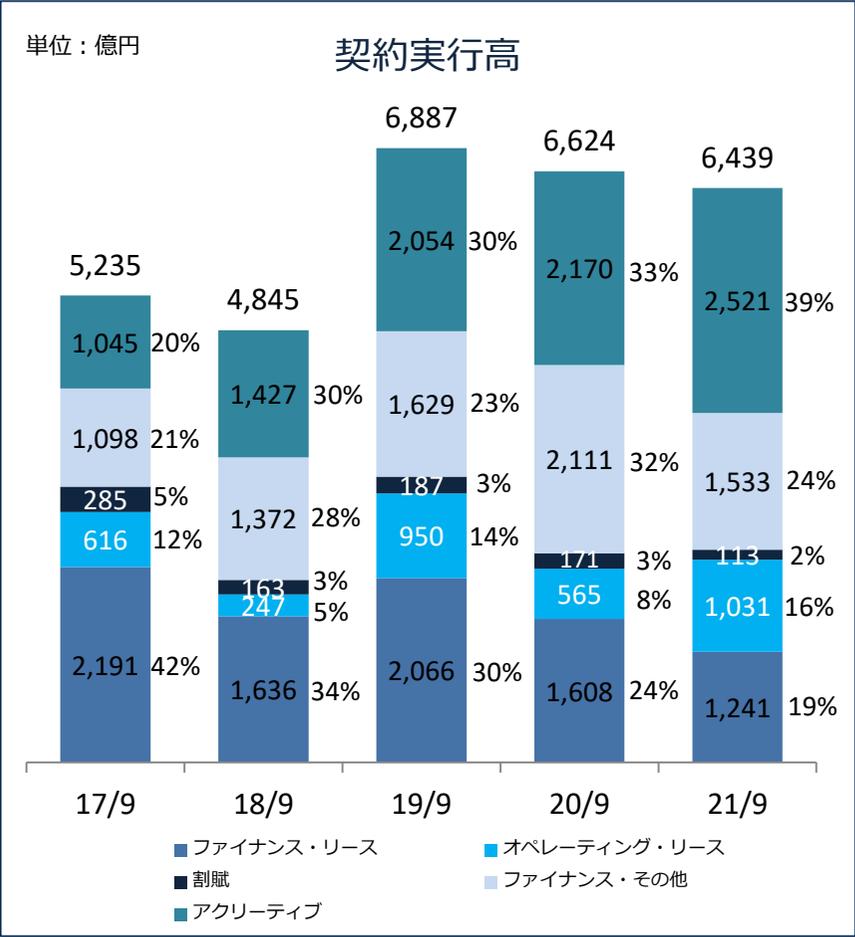
2. 事業活動の概況

(1) 契約実行高

- ・不動産が堅調に推移したことに加え、航空機の新規実行もあり、オペレーティング・リースが増加
- ・診療・介護報酬債権を中心にアクリーティブのファクタリングが増加

(単位：億円)

	19/9	20/9	21/9	増減額	増減率
リース	3,016	2,173	2,272	+99	+4.6%
ファイナンス・リース	(2,066)	(1,608)	(1,241)	(▲367)	(▲22.8%)
オペレーティング・リース	(950)	(565)	(1,031)	(+466)	(+82.4%)
割賦	187	171	113	▲58	▲34.1%
ファイナンス・その他	3,684	4,281	4,054	▲226	▲5.3%
アクリーティブ	(2,054)	(2,170)	(2,521)	(+351)	(+16.2%)
合計	6,887	6,624	6,439	▲186	▲2.8%



アクリーティブ：アクリーティブのファイナンス実行高  
 (右記グラフのファイナンス・その他にはアクリーティブの実行高は含まない)

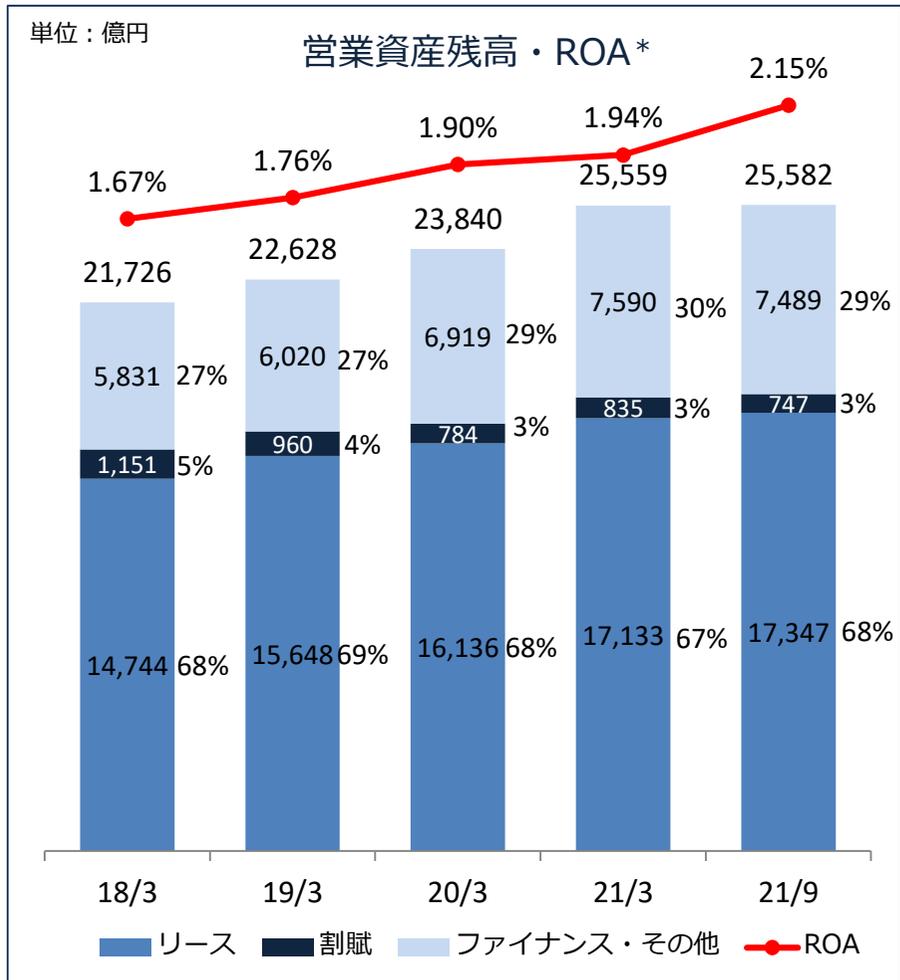
2. 事業活動の概況

(2) 営業資産残高・ROA

- ・不動産・航空機を中心に、「オペレーティング・リース」の積上げが進む
- ・流動化によるアセットコントロールを進めたこともあり「ファイナンス・リース」は減少するも、収益性の高いポートフォリオへの入替えが進み、ROAは大きく良化

(単位：億円)

	20/3	21/3	21/9	増減額	増減率
リース	16,136	17,133	17,347	213	+1.2%
ファイナンス・リース	(11,068)	(10,808)	(10,283)	(▲524)	(▲4.9%)
オペレーティング・リース	(5,068)	(6,325)	(7,063)	(+738)	(+11.7%)
割賦	784	835	747	▲88	▲10.6%
ファイナンス・その他	6,919	7,590	7,489	▲101	▲1.3%
合計	23,840	25,559	25,582	+24	+0.1%



\* 経常利益 (年換算) ÷ 営業資産残高 (平残)

3. 業績予想・配当方針

(1) 2022/3期 業績予想（連結）・配当予想

・業績予想、年間配当予想とも前回公表数値から変更なし

(単位：億円)

	2022/3期 2Q実績	2022/3期 予想
売上高	2,854	6,100
営業利益	235	465
経常利益	275	500
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	181	310
1株当たり四半期（当期）純利益	602.58円	1,033.44円
1株当たり配当金	130円	260円

## (1) セグメント別営業実績

\*1 資金原価控除前売上総利益

(単位：億円)

	リース				割賦				リース及び割賦 計			
	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率
売上	2,377	2,388	+11	+0.5%	223	168	▲55	▲24.6%	2,600	2,556	▲44	▲1.7%
売上原価	2,113	2,119	+6	+0.3%	213	160	▲53	▲24.9%	2,326	2,279	▲47	▲2.0%
差引利益*1	264	269	+6	+2.1%	9	8	▲2	▲18.5%	273	277	+4	+1.4%
資金原価	26	27	+0	+0.5%	2	1	▲1	▲34.8%	28	28	▲1	▲1.8%
売上総利益	237	243	+5	+2.3%	8	6	▲1	▲14.6%	245	249	+4	+1.8%

	ファイナンス				その他				合計			
	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率	20/9	21/9	増減額	増減率
売上	99	116	+17	+16.9%	875	182	▲693	▲79.2%	3,574	2,854	▲720	▲20.1%
売上原価	2	2	▲0	▲12.3%	786	92	▲694	▲88.3%	3,114	2,373	▲742	▲23.8%
差引利益*1	97	114	+17	+17.5%	89	90	+1	+1.4%	459	481	+22	+4.8%
資金原価	20	18	▲3	▲12.3%	2	1	▲1	▲32.7%	50	47	▲4	▲7.1%
売上総利益	77	96	+20	+25.5%	88	89	+2	+2.1%	409	435	+26	+6.3%

※「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる減収であり、従来の基準で売上高を認識した場合、21/9期のその他売上高は**880億円**（対前年同四半期増減率+0.6%）となります。また、「収益認識に関する会計基準」等を適用したことによる損益への影響はありません。

## (2) 契約実行高

(単位：億円)

	17/9	18/9	19/9	20/9	21/9	増減額	増減率
リース	2,807	1,884	3,016	2,173	2,272	+99	+4.6%
ファイナンス・リース	(2,191)	(1,636)	(2,066)	(1,608)	(1,241)	(▲367)	(▲22.8%)
オペレーティング・リース	(616)	(247)	(950)	(565)	(1,031)	(+466)	(+82.4%)
割賦	285	163	187	171	113	▲58	▲34.1%
ファイナンス・その他	2,143	2,799	3,684	4,281	4,054	▲226	▲5.3%
合計	5,235	4,845	6,887	6,624	6,439	▲186	▲2.8%

## (3) 物件別リース契約実行高

(単位：億円)

セグメント名称	19/9	20/9	21/9	増減額
情報・事務用機器	1,199	869	662	▲208
産業工作機械	260	136	92	▲44
土木・建設機械	52	42	16	▲26
輸送用機器	329	180	356	+176
医療機器	160	98	84	▲13
商業・サービス用機器	168	119	86	▲34
建物等	722	625	881	+257
その他	128	103	95	▲9
合計	3,016	2,173	2,272	+99

## (4) 営業資産残高

(単位：億円)

	18/3	19/3	20/3	21/3	21/9	増減額	増減率
リース	14,744	15,648	16,136	17,133	17,347	213	+1.2%
ファイナンス・リース	(10,987)	(10,835)	(11,068)	(10,808)	(10,283)	(▲524)	(▲4.9%)
オペレーティング・リース	(3,757)	(4,813)	(5,068)	(6,325)	(7,063)	(+738)	(+11.7%)
割賦	1,151	960	784	835	747	▲88	▲10.6%
ファイナンス・その他	5,831	6,020	6,919	7,590	7,489	▲101	▲1.3%
合計	21,726	22,628	23,840	25,559	25,582	+24	+0.1%

前例のない場所へ。

**FUYO LEASE GROUP**

芙蓉総合リース株式会社